

平成30年度  
社会貢献の取り組み



社会福祉法人 昭徳会



## 保育園 社会貢献事業の取組み



保育園では、社会貢献事業として様々な子育て支援を行なっています。核家族化が進む中、子育てに悩みながらも、相談する相手が周りにおらず、一人で不安を抱えていたり、情報が散乱する中で子どもの発達の見通しが立たないでいたりする保護者に、地域の中で身近に相談できる場所や子どもの遊び場として利用していただいています。

### 園開放

毎週第1、第2木曜日は園開放日です。園庭や、絵本コーナーにて親子でゆっくりと遊んでいただきながら、保育士が保護者の育児相談に応じています。

### ちびっこ広場

毎月第3木曜日は、「ちびっこ広場」の日です。未就園の親子を対象にリズム遊びや、折り紙、ベビーマッサージなどのプログラムを楽しんでもらうとともに、子育て世代の仲間作りの場として役割も担っています。

### ちびっこ広場地



### 安城七夕祭り吹き流し出展



### 安城七夕祭り

「安城七夕祭り」には地域協賛として、園児と作った吹き流しの作品を出品しています。平成30年度は童話「スイミー」をモチーフにして作りました。可愛らしい作品が地域の方に喜ばれています。



### 地域の皆さんと夏祭り！



### 夏祭り

園内で開催される夏祭りには地域の方たちや卒園した子どもたちにも参加してもらっています。ヨーヨー釣りに、おもちゃや、ゲームコーナーに盆踊り、町内でも祭りの開催を心待ちにしている子どもも多く、毎年たくさんの人で賑わい盛り上がっています。

### 「smile the koutoku」



### 出張人形劇

職員でつくった人形劇クラブ「smile the koutoku」地域の子ども会や、福祉施設等に出かけ、人形劇や歌や遊びを楽しんでいただきます。



○その他にも、地域文化イベントへの参加や、防災訓練への参加、清掃活動等にも積極的に参加しています。

これからも、地域内の一一番身近な子育て支援の場として、子どもたちの健やかな成長を支え、保護者皆様の育児不安の解消に努めていきたいと考えています。



## <保育園の取り組み>

事 業 名	あそぼうかいの開催(子育ての支援と相談)
内 容	<p>未就園児とその保護者を対象とし、毎月開催した。</p> <p>保育士による絵本や紙芝居、手作りおもちゃづくり、おやつ作り、運動あそび、園庭開放を行なっている。離乳食や睡眠などの育児相談にも対応している。</p> <p>運動会や夏まつりなどの保育行事にも招待し、参加してもらった。</p> <p>ホームページに子育て相談、乳幼児期の食事に関する相談ページを開設した</p>
事 業 名	ちびっこ広場の開催
内 容	地域の未就園児を対象に遊びの会を開催。リズム遊びや、ふれあい遊び、絵本の読み聞かせなどを楽しんでもらう。夏祭りや運動会等の園行事に参加してもらった。
事 業 名	ちびっこ人形劇会・子ども会等地域行事への参加
内 容	<p>地域の未就園児を対象とした人形劇会を開催した。</p> <p>地域の子ども会や育児支援の会場に職員の人形劇団サークルを派遣した。</p>
事 業 名	卒園児との交流事業の開催(卒園児フォローアップ)
内 容	卒園児を対象とした、遊びの会と、卒園児保護者を対象とした懇談会を開催して、就学不安の解消に努めた。
事 業 名	おじいちゃんおばあちゃん遊ぼう会(高齢者との交流)
内 容	年9回程度、年長児が近隣の特別養護老人ホームに出向き、触れ合い遊びをしたり、遊戯を披露したりして交流した。

## 児童養護施設

### -地域との共生-

地域の一員として、地域のあらゆる方々や一年間お世話になった方々(寄付・各行事等の招待者)を招き、入所児童主体の交流会(餅つきや感謝祭 等)の場を設けることで、日頃の感謝の意を伝えるとともに、施設への関心と理解を深めていただくことを目的としています。

#### 平成 30 年度 感謝祭

開催日 平成 31 年 3 月 3 日 (日)

参加者 入所児童(約 50 名)・地域住民(約 250 名)

ボランティア個人・団体、行政関係者、  
児童相談所職員 等(総勢 約 300 名)

内 容 焼きそば・たこ焼き・ポップコーン  
水餃子スープ・チュロス・スーパー  
ボールすくい、パターゴルフ、ダーツ  
プラパン作り、紙芝居(幼児) 等  
\*各ゲームには景品有

日 程 11:00 開会

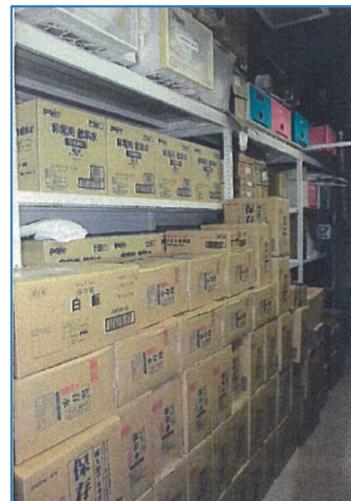
和太鼓によるオープニング

\*同一法人障害児施設の利用者による

11:15 模擬店開始 (14:00 終了)



感謝祭



緊急時対応備品



感謝祭



もちつき

## ○なごやよりどころサポート事業

現在「若者よりそいサポート事業」を利用している卒寮生は 5 名おり、児童館や児童養護施設・母子生活支援施設・地域活動支援センターなどでボランティアをさせていただいています。この「若者よりそいサポート事業」は児童養護施設を出て大学等へ進学した若者たちにボランティアをしてもらうことで社会経験の場を提供しながら、月 3 万円の生活資金を給付し、卒業まで支援していただけというものです。平成 30 年度の卒業生も 3 名中 2 名がこの事業を利用させてもらい、どこかの福祉施設でボランティアをさせてもらう予定です。

## ○子ども会への協力

当施設がある町内は、しばらく子ども会の活動を行っていなかったそうですが、平成 28 年度の途中から再開したため、参加させていただいています。ソフトボール大会やラジオ体操、ドッヂボール大会、壁新聞作り、卒業生を送る会など、他の町内と一緒に行う行事だけでなく、オリジナルの行事も企画して下さっており、子どもたちは楽しんで参加させていただいています。夏休みには町内の大人のソフトボールチーム（職員も一員として所属させてもらっています）の方々に名古屋若松寮の子どもたちのために練習をしてもらうこともありました。私たちも多目的室を利用してもらったり、マイクロバスで行事の送迎を行ったり、備品等を預かり管理し、少しですが地域に貢献でいるよう努めています。



## ○「虐待防止」オレンジリボンたすきリレー

平成 30 年 11 月 17 日、第 5 回オレンジリボンたすきリレーが行われました。この活動は子ども虐待防止の象徴であるオレンジリボンをたすきに仕立て、駆伝方式でたすきをつなぎ、皆の心を一つにすれば大きな力になることを証明し、子ども虐待防止への市民への呼びかけとその実現を目指します。また、11 月は児童虐待防止推進月間であり、この期間に合わせて実施することで、他の子ども虐待防止関連行事との相乗効果により、一層充実した啓発活動となることを目指します。今年も天気に恵まれランナーたちも気持ちよく走り、オレンジリボンの啓発活動に励むことができました。



## ○施設フェスティバル

平成 30 年 10 月 20 日に、名古屋若松寮となってから 3 回目となる「若松フェスティバル」を開催しました。フェスティバルは地域の方々を始め、日頃お世話になっている方々に来ていただき感謝の気持ちを伝えるとともに、皆さんとの交流や名古屋若松寮のことをより知っていただくことを目的に行っています。当日は約 250 名の方々が来て下さり、焼きそばや豚汁・クリームソーダなどの模擬店に射的や魚釣りなどのゲームコーナー、プラバン・ビーズアクセサリーなどの工作コーナーを設け楽しんでいただきました。そして最後に全員でbingo大会をして、楽しい雰囲気の中、地域・関係機関の方々との交流ができました。また、昨年に引き続き若松フェスティバル後に「OB の集い」を行いました。こちらは昨年より参加人数は減ってしまいましたが、久しぶりに会ったことで話に花が咲いていました。来年以降も継続して行っていきたいと思っています。



＜児童養護施設の取り組み＞

事 業 名	なごや・よりどころサポート事業への参加
内 容	既存の制度では解決できない地域住民の抱える困難な福祉課題の解決に向けた公益的な事業である。生活費の支援、緊急的に困ったときの援助をすることで、養護施設等を出て大学等へ進学したり、就職する子どもたちの継続的な「よりどころ」となることを目指している。
事 業 名	地域子ども会への協力
内 容	地域子ども会主催の行事(ソフトボール大会・ドッヂボール大会等)への役員派遣及び備品の貸し出し。イベント時に施設設備(会議室・地域交流室)を解放した。
事 業 名	地域内の清掃活動
内 容	毎月 1 回、午前 9 時 00 分から 30 分ほど施設周辺の清掃活動を職員で実施している。
事 業 名	地域防災に関する取組み
内 容	避難所としての役割を担うことができるよう、緊急時における非常食(1 週間分)を備蓄し、緊急時の対応に備えている。
事 業 名	AED の設置
内 容	対外的に AED 設置を公表し、緊急時に活動できるよう周知している。
事 業 名	感謝祭の開催
内 容	お世話になった方々を招き、子どもたちが運営する模擬店・ゲーム等を楽しんでいただくことで感謝の気持ちを伝えている。また、ボランティア団体等に感謝状を贈呈。模擬店でのおもてなし具合は、来場者の投票により優劣を決めている。 皆さんとの交流をはかり、当施設のことをよりよく知っていただくことを目的に実施。
事 業 名	「児童虐待防止」オレンジリボンたすきリレー
内 容	児童養護施設・行政職員(市役所・児童相談センター)などがランナーになり、2コースに分かれた施設間を中継地点とし、ゴールセレモニーを行う栄ナディアパークまでのマラソンを通じ、児童虐待防止について市民に広くPRを行った。

事業名	里親サロン
内 容	<p>開催日…5月、8月、2月の年間3回</p> <p>事業内容…里親・里子で参加。5月(スターペアレンティング)8月(発達の理解について)11・2月(自立支援について)</p> <p>《会場》名古屋養育院和室 《参加者》年間50名</p>
事業名	見守り支援者:すくすくボランティア養成講座
内 容	<p>開催日…5・7・8・9・11・12・1・2月の年間7回</p> <p>事業内容…親子を温かく見守り、地域子育て支援と児童虐待予防に繋げることを目的に、市内8区を対象に、講師:前島美津枝氏とさくらが中心になり養成講座を開設。主催:名古屋市・さくら</p>
事業名	短時間無料託児事業
内 容	<p>地域における公益的な取組みである。目的としては、核家族化の進行や地域の繋がりの希薄化による保護者の育児疲れを課題に感じ、心理的・身体的負担を軽減してもらうため子育て支援事業のレスパイトとして無料託児を実施した。(今年度160名利用)</p>

# 障害児・者施設の地域貢献事業

## 《アフターフォロー》

内容～退園した利用者との関わりをアフターフォローと呼んでいます。

### （1）施設訪問

施設を退園した利用者の様子を定期的に見に行っています。

その中で、進路先の企業や成人施設、グループホームとの情報交換、本人の悩み等の相談にも対応しています。



### （2）里帰り

退園した利用者が子ども時代を過ごした小原学園にGW、お盆、年末年始等の連休に宿泊するサービスを提供しています。



## 《地域との交流》

内容

- ・小原に移転してから和太鼓演奏をはじめ、地域のお祭りや、同法人の行事等へ太鼓クラブの活動として参加しています。



## 《短期入所・日中短期入所の送迎サービス》

### 内容

- 施設の短期入所・日中短期入所の利用者の中で特別支援学校のスクールバス（猿投コース）を利用している方については、最寄のバス停から施設間の送迎サービスを行っています。



### ◆ 地域交流

豊田市藤岡石畠地区にて第一土曜日に開催されている『石畠ふれあい朝市』に、小原寮ブースとして参加し、自主生産品（野菜、陶芸品、手芸品）、日用品や衣類などの生活余剰品を販売させてさせていただき、地域の方たちと交流しています。  
他にも小原四季桜まつり、小原文化まつり、あんどんパレードなど地元イベントに参加しています。



### ◆ 豊田市立小原中部小学校との定期交流

地域委員3名と利用者3名が隔月で地域の小学校へ出向き、生徒たちと掃除、給食、レクレーションの時間を共にすることで、障がいへの理解・促進を図っています。  
また、生徒に「障がいとは何か?」の講義を実施し、発達障がいの人たちが普段の生活の中でどのような苦労があるのか等の体験学習を実施しました。



### ◆ ふれあい広場☆わんだふる

施設の多目的ホールを開放して、飲み物、スイーツを提供し、地域の方とお茶を飲みながら交流する憩いの場となっています。  
運営は、地元中高大生や社協のボランティアの協力を得ています。



# 地域と共に 小原寮の取り組み

## ◆ 地域交流

豊田市藤岡石畠地区にて第一土曜日に開催されている『石畠ふれあい朝市』に、小原寮ブースとして参加し、自主生産品(野菜、陶芸品、手芸品)、日用品や衣類などの生活余剰品を販売させてさせていただき、地域の方たちと交流している。他にも小原四季桜まつり、小原文化まつり、あんどんパレードなど地元イベントに参加している。



## ◆ 豊田市立小原中部小学校との定期交流

地域委員3名と利用者3名が隔月で豊田市立小原中部小学校へ出向き、生徒たちと掃除、給食、レクレーションの時間を共にすることで、障がいへの理解・促進を図っている。また、生徒に「障がいとは何か?」の講義を実施し、発達障がいの人たちが普段の生活の中でどのような苦労があるのか等の体験学習を生徒にしていただく取り組みも実施した。



## ◆ ふれあい広場☆わんだふる

小原寮多目的ホールを開放して、飲み物、スイーツを提供し、地域の方とお茶を飲みながら交流する憩いの場となっている。また、提供させているスイーツは石畠ふれあい朝市の出店仲間の方たちから、購入させていただき、地域の方たちとの繋がりを意識した取り組みとしている。

その他、運営には、地元中高大生のボランティア、社協経由から応募がある「ボランティア探検隊」の方たちのお手伝いボランティアやステージでマジックショーなどの技能奉仕によるボランティアさんも積極的に受け入れた。



## 知的障がい者福祉の理解と地域共存に向けた取組み

- ① 施設行事(開寮記念祭 10月実施)での地元福祉事業所の授産製品の販売。
- ② 地域行政区に所属するクラブ活動(いいじやん踊り)の発表機会の提供。
- ③ 市主催の福祉総合フェスタに参加。施設の活動紹介および地域住民との交流。
- ④ 地域(打越地区)の文化祭に利用者さん作成の絵画を展示し文化交流を実施。



## 福祉事業所を対象にした研修会開催場所の提供

市の自立支援協議会主催の研修会の実施にあたり、研修会場として年4回施設を開放。



## 地元中学校の福祉教育への協力

地域中学校の生徒による福祉施設での課外活動への協力。



## 地域での交通安全運動への参加

施設所在地近くの交差点での交通安全立哨活動。

毎月「ゼロの日」及び春・夏・冬の交通安全運動期間中に実施。



## 日本財団 チェリティ自販機の設置

施設内に飲料水の自動販売機を設置し、飲料1本につき10円を社会貢献プロジェクトに寄付。



## 知的障がい児者の療育相談

施設のホームページに、知的障がい児者の療育等の相談コーナーを設け、必要に応じ情報提供を行う。

## ～地域を支える～

- ・ハロウィン・バレンタイン等の各種イベントの開催による地域住民の楽しみの提供、健康自生地登録により、高齢者の健康促進及び憩いの場の提供。
- ・鬼道祭りや夏祭り等、地域の各種イベントに模擬店の出展等、積極的に参加。
- ・民生委員を含めた地域ボランティアの積極的な受け入れ。
- ・地域企業の職員研修の受け入れ。
- ・地域自立支援協議会等の行政組織及び、地域イベント(わくわくフェスティバル)等への職員派遣。



## ～子どもたちを支える～

- ・地域の小学校の授業単元で、ぱりまる製造について授業を担当。
- ・特別支援学校の生徒を受け入れての仕事体験。
- ・介護福祉士、教員免許等、資格取得実習受け入れ。



## ～地域で障がいを持った方を支える～

- ・就労を目指す地域障がい者に対し就労準備のための給付外サービスの提供。
- ・一般就労している地域障がい者に対し継続した就労ができる様、給付外定着支援の実施。
- ・地域の障がい者や高齢者に対し行事等に参加してもらい(給付外)余暇の充実及びやりがいの提供。



## ～災害時を支える～

- ・高浜市市民に対する防災フォーラムを、行政及びまちづくり協議会と協力して開催。
- ・高浜市と風水害一時避難所及び福祉避難所契約。
- ・武力攻撃事態等における国民保護のための避難施設契約。



＜障害児・者施設の取り組み＞

事業名	退所者のアフターフォロー
内 容	<p>施設訪問～平成29年度に退園した利用者5名について、退園後の様子を年2回訪問、電話で確認等した。進路先の作業所、成人施設、グループホームと情報交換等を行い、本人の悩み等の相談に対応した。</p> <p>里帰り～家庭へ帰省できない退園利用者が家庭がわりである小原学園にG・W、お盆、年末年始等で帰省してきた。学園で楽しく過ごし、リフレッシュして進路先に戻っていった。</p> <p>(平成30年度の利用者は延べ15名)</p>
事業名	給付外就労定着支援
内 容	<p>施設から一般就労した地域障害者に対して、継続して就労できるよう、就職先への訪問による本人及び事業所へのアセスメント、事業所支援。来所による相談支援等を給付外で行った。</p> <p>人数:5人 回数:95回</p>
事業名	福祉サービス外支援
内 容	<p>地域に住む障害者(手帳不所持者含む)を福祉サービス外(給付外)で受け入れ、利用者と一緒に活動することで、障害者に生きがい、やりがい、楽しみを提供した。</p> <p>人数:実人数6名 (延日数 114日)</p>
事業名	職場体験等学生受入
内 容	<p>特別支援学校や地域の中学校特別支援学級の生徒や保護者を受け入れ、将来を見据えて就労体験及び障害福祉サービス事業の説明、進路相談等を行っている。</p> <p>&lt;特別支援学校&gt;</p> <p>(1) 高等部産業現場実習 (2) 中学部3年見学 (3) 中学部2年見学</p> <p>&lt;市内中学校&gt;</p> <p>職場体験実習</p>
事業名	地域交流事業「高取すてき発見事業」の実施
内 容	<p>地域小学校の、地域の素敵な活動をする場所を取材する「すてき発見授業」に協力。3年生5名及び、教諭を2日間受け入れ「食品(ぱりまる)製造工場」を取材し、実際に利用者と一緒に「食品(ぱりまる)」の製造を体験してもらい、自分たちで作った「食品」を持ち帰ってもらった。</p>

事業名	市内小学校、中学校との定期交流
内 容	隔月で地域の小学校で生徒たちと掃除、給食、レクレーションの時間を共にすることで、障がいへの理解・促進を図った。また、生徒に「障がいとは何か?」の講義を実施し、発達障がいの人たちが普段の生活の中でどのような苦労があるのか等の体験学習を実施した。
事業名	地域住民への福祉活動
内 容	<p>○施設行事に伴う施設開放 施設行事を通して、知的障がい者(自閉症者)の地域理解を深めると同時に、知的障がい者の社会的活動(授産製品等の販売、活動紹介等)の一端を担う。また、地域住民の文化活動の発表の機会の場として施設設備を提供。</p> <p>○地域の福祉フェスタへの参加 施設の活動紹介を行うと同時に、みよし市の福祉行事への協力。</p> <p>○地域文化祭(打越文化祭)への参加 地域の文化祭に、利用者の作品等を出し自閉症者に対する理解を図った。</p> <p>○地域の中学生と利用者さんとの交流会の実施 地域中学校の福祉教育の一環として、施設利用者さんとの交流活動を実施。</p>
事業名	地元企業の社員研修受け入れ
内 容	<p>(株)中庸スプリング及びおとうふ工房いしかわの新人職員を受け入れ、社会人としての心得、福祉の現状及び連携、企業における社会貢献の意義、人材育成等について説明を行い、その後利用者と一緒に作業体験を行った。</p> <p>① 中庸スプリング新人研修 平成 30 年 4 月 10 日 人数 11 名 ② おとうふ工房いしかわ新人研修 平成 30 年 4 月 11 日～13 日 人数 16 名</p>
事業名	講師の派遣
内 容	市内在住の障がいを持つ子どもの親を対象とした講演会にて「就労するまでに身につけておくこと」の題で講演を行った。
事業名	ふれあい喫茶の開催
内 容	施設のホールを開放して、飲み物、スイーツを提供し、地域の方とお茶を飲みながら交流する憩いの場となっている。運営には、地元中高大生のボランティア、社協から応募がある「ボランティア探検隊」の方たちのお手伝いでマジックショーなどを行っている。
事業名	地域の朝市への参加
内 容	地域で月に1回開催されている『朝市』に参加し、自主生産品、日用品や衣類などの生活品を販売し、地域の方たちと交流した。

事 業 名	和太鼓クラブによる交流
内 容	地域のお祭りや行事等へ演奏依頼を受けて、太鼓クラブの活動として参加した。 (平成30年度の依頼は6件)
事 業 名	短期入所・日中短期入所の無料送迎サービス
内 容	施設利用者の中で特別支援学校のスクールバス(施設の利用者と同じコース)を利用している方については、最寄りのバス停から施設間の送迎サービスを行った。
事 業 名	施設設備の開放
内 容	地域の各種団体主催の研修会会場として開放している。 ・みよし市自立支援協議会主催の研修会の実施。(年4回実施) ・愛知県知的障害者支援協会主催の研修会の実施。(年1回実施)
事 業 名	地域の交通安全運動への参加
内 容	交通事故死ゼロの日(毎月実施)および春夏冬の交通安全運動期間中における立哨活動に参加している。
事 業 名	イエローレシート(イオン主催)キャンペーンへの参加
内 容	「東北の子ども達のために」を合言葉に、イエローレシートの収集活動に参加した。
事 業 名	チャリティ自動販売機の設置
内 容	日本財団「チャリティ自販機」を施設内に設置し、飲料水1本の購入にあたり10円を日本財団ドネーション本部に寄付している。
事 業 名	地域イベント(ハロウィン、バレンタイン)の開催
内 容	ハロウィンイベントを地域の子ども向けに開催した。 事業所に来てくれた子どもたちにお菓子を配り交流を深めた。(参加者:53名) バレンタインイベントを地域の子ども向けに開催した。事業所に来てくれた子どもたちに事業所のチョコレート機で手作りのバレンタインチョコを作ってもらい交流を行った。 ( 参加者:45名 )
事 業 名	わくわくフェスティバル
内 容	市の地域福祉の推進を図ることを目的とした、市社会福祉協議会主催の「わくわくフェスティバル」の実行委員会に職員を派遣し、企画運営を行った。 「わくわくフェスティバル」当日には、模擬店を出店するとともに、ワンデイシェフにおいて「ぱりまる衣のはさみ揚げ」を提供した。(参加者:3,000名)

事 業 名	市内風水害一時避難所・福祉避難所・武力攻撃等における避難所指定登録
内 容	<p>市の福祉避難所に加え、武力攻撃事態等における国民保護のための避難施設としても指定を受け、有事の際には地域住民の避難所として安全を確保している。</p> <p>平成 30 年度は台風接近に伴い次のとおり一時避難所を開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 日時:平成 30 年 7 月 28 日 利用者:2 名</li> <li>② 日時:平成 30 年 9 月 3 日 利用者:なし</li> <li>③ 日時:平成 30 年 9 月 30 日 利用者:3 名</li> </ul>
事 業 名	地域清掃活動
内 容	グループホームの利用者及び職員で、地域の清掃活動に参加。又、自主的に近隣地域の清掃を行っている。

# 高齢者施設の活動

～認知症になっても安心して地域で生活できる地域をめざして～

高齢者施設では、市役所や他の事業所と協働しながら、市内で生活されている方々を対象に、社会貢献活動を継続して行っています。高齢者の方には、回想法ケアを通して認知症予防や引きこもり予防、居場所作り等を目的に取り組みを行っています。在宅で介護をされている方には、不安を安心に繋ぐことが出来るよう、介護方法や介護での不安に耳を傾けながら、施設職員が持っている知恵や知識等のアドバイスを行っています。また、これから介護を担う可能性のある子供たちには、他の事業所と共に各小学校を回りながら、認知症の知識や認知症の方への理解を深めてもらえるような取り組みを行っています。



## 『地域に向けて』

- サマーフェスタ
- 地域サロン
- 回想法のつどい
- ショートステイ回想法



## 『市役所・事業所との協働』

- ～市役所との協働事業～
- みよし市発「懐かし想ひ出列車」
- 認知症カフェ
- 認知症サポートー育成講座



## 『地域行事への参加』

- 市総合福祉フェスタ
- 徘徊高齢者搜索模擬訓練
- 地域文化祭



## 昭和で元気になる会

高浜市市民予算枠事業「協働推進型」として5年目の活動を継続している。市役所と連携して市民団体「昭和で元気になる会」を立ち上げ、市内で初となる認知症カフェ「昭和で元気になるカフェ」を実施し、地域の高齢者の方に回想法を体験していただいている。また、閉じこもり気味の高齢者の外出意欲の向上をサポートする「訪問回想法」を実践している。

子どもたちに回想法を体験してもらいながらの多世代交流など活動の幅が広がっている。



## 生涯現役のまちづくり「健康自生地」に登録

市内に「高齢者が自ら出向いて活動を行える場所」を健康自生地として認定しており、これに積極的に参加することにより、高齢者の引きこもり防止並びに介護予防に繋げていく。施設においては、「回想法への参加」を登録し、住民の参加を受けいれる。元気高齢者応援事業として、福祉施設でのボランティア活動に際し、1時間1ポイントのスタンプを押印する居場所として登録し、事業に協力している。

## 昭和で元気になる カフェ 平成30年度

認知症の方やご家族にとって  
①安心して過ごすことができる  
②地域と関わることができる  
③お互いに相談し合える  
④必要な情報を得ることができる 場所であり、  
市民が認知症を理解し暮らしやすい高浜市になることを願うカフェです。

第1回	4月22日(日)	第6回	11月11日(日)
第2回	5月27日(日)	第7回	12月9日(日)
第3回	6月24日(日)	第8回	H31年1月20日(日)
第4回	8月26日(日)	第9回	H31年2月17日(日)
第5回	9月23日(日)	第10回	H31年3月24日(日)

開催場所：いきいき広場2階ホール（変更の場合別途ご案内）

開催時間：13:00～15:00（2時間）

内 容：茶菓子代200円（飲み物お代わり自由）

保健師による健康チェックや介護相談

ボランティアによる催し

コグニサイズ、回想法、ティータイム

健康や認知症に関するお話し

健康自生地スタンプラリー

健康自生地No.19 「まちめぐりポイントカード」をお忘れなく

昭和で元気になる会 事務局52-5050（高浜安立荘）

## ～地域の方とのなじみの関係づくり～

- ・地域のふれあいサロンに参加し、体と頭の体操など行事支援の実施。  
施設においてもふれあいサロンを開催した。
- ・地域のスポーツフェスタへの職員を派遣し開催協力している



ふれあいサロン



スポーツフェスタ

## ～介護を体験、介護の魅力を伝える～

- ・「地域発見隊」として中学生を受入れ
- ・教員免許特例法による介護体験にて中京大学 7 名受入れ。
- ・地域小学校全児童との合唱交流。



大学生介護体験



小合唱との交流

<高齢者施設の取り組み>

事業名	就労支援に向けた実習受入れ
内容	地域の特別支援学校に通っている高校3年生の就労支援に向けた実習を受け入れている。
事業名	職場体験等受入
内容	市教育委員会の教員初任者や市内の中学生の職場体験の受け入れを行っている。
事業名	市内内中学生との交流
内容	市内の中学生と施設入居者との交流活動を通して、高齢者と高齢者への関わりについての理解を広めている。
事業名	清掃活動
内容	定期的に施設近隣地区や道路等の清掃活動を行っている。
事業名	認知症サポーター養成のための講師派遣
内容	職員が認知症サポーター養成の資格を取得し、地域の認知症サポーター養成を行っている。（地域の大学、小・中学校など）
事業名	生徒に介護の取組みを伝え福祉への理解を深める
内容	施設が取り組むターミナルケア、回想法や自立支援介護をはじめとする認知症ケアの実践を生徒に伝え、高齢者福祉に対する理解を深める。日本福祉大学、藤田保健衛生大学、愛知県立桃陵高校において実施した。 ハローワークの依頼により長久手市立南中学校をはじめ愛知県下（名古屋市を含む）の中学校4校で職業講話を実施した。
事業名	生涯現役まちづくりの実行委員
内容	高浜市が取り組んでいる「生涯現役まちづくり」の課題解決チームと健康自生地盛り上げチームに参加し、市民とともに活動している。
事業名	認知症カフェの共催
内容	他法人と共に、高齢者の居場所づくりの一環として、毎月1回、認知症カフェを実施している。

事業名	地域サロン
内 容	<p>特別養護老人ホームへの理解を深めていただくため、施設の取組みを報告しながら回想法の体験の場を提供している。同時に地域住民が興味関心を寄せている内容や社会的な問題をテーマに掲げ講演を開催している。</p> <p>また、在宅で要介護者の支援をしている家族を対象に、「移乗介助」「排泄介助」等の介助方法について研修を行っている。</p>
事業名	回想法のつどい
内 容	認知症予防の一環として、「回想法のつどい」を開催して、講演や回想法の展示・体験、研究報告、みよし市介護予防協働事業報告等を行っている。
事業名	認知症高齢者を支える家族の集いと介護教室
内 容	市内の認知症高齢者を支える家族の集いに参加し、認知症についての講義を開催した また、介護者を応援するために、介護知識や技術を伝える講義、「生前整理のポイント」について講演を開催した。
事業名	福祉フェスタ
内 容	社会福祉協議会主催のもと、市内の福祉事業所と共に個々にブースを構え、来場者との地域交流を図りながら、福祉施設への理解を深めていただくため、施設の取組みの説明や回想法の展示、回想法の体験の場を提供している。
事業名	スポーツイベント・ボランティア
内 容	地域のイベントやスポーツフェスタへ補助者（スタッフ）として職員を派遣した。受付係や種目の補助、典礼、器具の準備、決勝記録等を行う。
事業名	みよし市発「懐かし想ひ出列車」(回想法事業)
内 容	<p>地域の方との懐かしい話を通して脳を活性化させる「回想法」を通して、みよし市介護予防委託事業として地域交流、啓発活動を行っている。</p> <p>開催時期は、前期 5～9 月、後期 11 月～2 月にそれぞれ全 8 回で開催している。場所は前期後期共に、市役所と安立荘にて開催をしている。</p>
事業名	第8回市民公開セミナー
内 容	<p>特別養護老人ホームに対する理解を深めるために施設の取り組みを報告する。地域住民が興味関心を寄せることや社会的な問題をテーマに掲げ講師を依頼して講演会を開催した。</p> <p>①開催日 平成30年11月17日（土）      ②場 所 いきいき広場2階ホール（高浜市春日町）      ③内 容 「最期のその時まで寄り添って」（ターミナルケア）      ④講 演 安生更生病院 緩和ケア病棟内科医師      ⑤施設発表 「施設での看取り」 看護職員      ⑥参加者 85名</p>

事 業 名	地域団体の活動に参加
内 容	<p>毎月開催される地域の清掃活動「渡し場かもめ会」に参加する。今年度より年間を通して清掃活動が開催され、毎月参加することができた。</p> <p>地域団体の開催するイベントに施設を提供したり運営に協力している。</p> <p>「渡し場まつり」「里海づくり」「海の生き物調査」「青パトロール」「盆踊り大会」「ソフトボール大会」「駅伝大会」「さわやかフェスタ」「コグニタウン事業」「認知症キャラバンメイトとしてサポートー養成講座開催」等。</p> <p>定期的に開催される地域団体の会議に参加している。</p>
事 業 名	エコキヤップ運動
内 容	施設内でペットボトルのキャップを回収している。
事 業 名	社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担軽減
内 容	低所得で生計が困難な方に対して、介護保険サービスの利用促進を図るために、介護サービスを行う社会福祉法人等がその社会的な役割の一環として利用者負担額を軽減している。
事 業 名	昭和で元気になる会
内 容	<p>高浜市市民予算枠事業「協働推進型」として6年目の活動を継続している。回想法を活用しながら高浜市内の高齢者の介護予防、認知症予防、閉じこもり予防、地域の伝承の一助を担うことを目的としている。</p> <p>認知症カフェ「昭和で元気になるカフェ」は継続し、年間 10 回開催した。固定した場所のみでは参加が困難な市民もいると感じ、市内のほかの地域においても開催した。</p> <p>訪問回想法での効果は、市民公開セミナーにおいて発表し広く市民に伝えた。</p>
事 業 名	緊急入所者・緊急利用の受け入れ
内 容	保険者およびケアマネージャー等からの緊急入所依頼等に、速やかに対応している。
事 業 名	認知症予防スタッフの活動
内 容	職員4名が「認知症予防スタッフ養成講座」を受講し認定され、大府市・東海市及び豊明市において「脳とからだの健康チェック」のスタッフとして活動した。
事 業 名	市民防災フォーラムの開催
内 容	<p>高浜市、高浜市社協、高浜市防災リーダーと連携し、障害者や高齢者、子どもたちを含む、市民全員が安心して暮らせる町作りを目指し、色々な体験や講和をとおして防災について学ぶため防災フォーラムを開催した。</p> <p>① 開催日:平成 30 年 8 月 4 日</p> <p>② 場 所:ケアハウス高浜安立</p> <p>② 内 容:防災ビンゴ、炊き出し、煙のトンネル、消火訓練、車イス体験、避難所体験、AED 講習、防災クイズラリー等</p> <p>④ 参加者:221 名</p>

事 業 名	生涯現役のまちづくり「健康自生地」に登録
内 容	<p>市内に「高齢者が自ら出向いて活動を行える場所」を健康自生地として認定しており、これに積極的に参加することにより高齢者の引きこもり防止並びに介護予防に繋げている。</p> <p>〈特別養護老人ホーム〉 「回想法への参加」を登録し、住民の参加を受けいれる。</p> <p>〈経費老人ホーム〉 施設の喫茶「やすらぎ」、健康体操クラブ・ビデオ鑑賞会を登録し、地域づくりに貢献する。</p> <p>〈養護老人ホーム〉 奇数月の第4日曜日、デイサービスの休業日にデイルームを開放し地域の方と交流しながら通信カラオケを楽しんでいる</p> <p>〈授産施設〉 施設の一部を開放し、脳と体の健康チェックの拠点として血圧計、体重計を設置した。(1日平均5名が訪れている、年間延べ1,290名)</p>
事 業 名	高浜市いきいきマイレージ事業に協力
内 容	<p>〈特別養護老人ホーム〉 元気高齢者応援事業として、福祉施設でのボランティア活動に際し、1時間1ポイントのスタンプを押印する居場所として登録し、事業に協力している。</p> <p>〈養護老人ホーム〉 平成23年4月から、高齢者の持てる能力を發揮していただける項目を施設と調整し実施する。現在、茶道の講師を2人の方にお願いし、毎月実施している。</p>
事 業 名	集会室・談話室の地域開放事業
内 容	町内会役員会及び総会、渡し場かもめ会役員会、渡し場祭りに当施設集会室や談話室を無料開放している。また他に地域の活動に集会室を利用していただいた。
事 業 名	ゲストルームを高齢者の緊急避難に利用
内 容	市内在住の高齢者(自立)が何らかの事情により、緊急避難が必要となった場合に利用できるようゲストルームを提供している。
事 業 名	ひなた祭り
内 容	毎年10月に「秋祭り」を開催している。入所者のご家族様をはじめ、日頃お世話になっている地域の方々をお招きして、露店やゲーム、外部講師の講演や抽選会を楽しんでいただいている。

事 業 名	生活困窮者レスキュー事業
内 容	<p>大阪しあわせネットワーク(オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業)に協賛し、制度の狭間の生活困窮など様々な生活課題を抱える人々に対して、施設から総合生活相談員(コミュニティーソーシャルワーカー)として2名登録し、大阪府社会福祉協議会所属の社会貢献支援員と連携しワンストップ総合生活相談を行っている。</p> <p>公的制度やサービス等による支援が受けられず、生命に関わる緊急・窮迫した制度の狭間の生活困窮状況に対しては、施設長の決済により、おおむね 10 万円を限度とした「経済的援助(現物支給)」による支援を実施する。</p> <p>(平成 30 年度実績 2 件(経済支援 1 件、相談支援 1 件):生活再建と自立支援)</p>